



ウォータースタンド株式会社

SDGs達成に向けたウォータースタンドの取り組み

「藤沢市気候非常事態宣言」を表明する藤沢市とプラスチックごみ削減に関する協定を終結



藤沢市では

神奈川県「かながわプラごみゼロ宣言」に賛同しマイボトルの活用推進に取り組んでいます。



▲ 藤沢市オリジナルタンブラー

13 気候変動に具体的な対策を

プラスチックボトル製造、リサイクル時に発生するCO2削減

マイボトルの携帯でプラスチックボトルをリデュース

500mlプラスチックボトル1本を使用した場合に排出されるCO2はステンレス製水筒(100回使用)と比較し約8.6倍となる119gにのぼると言われています。

※引用 環境省「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について」(2011年4月)



ステンレスボトル
(100回使用/500ml)

CO₂ 排出量
(1回あたり)

約13.9g



ガラス瓶
(300ml)

約51g

約3.7倍



プラカップ
(350ml)

約78.5g

約5.6倍



ペットボトル
(500ml)

約119g

約8.6倍



水筒配付数 ※2021年度

8万8,000本

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。